

校長	教頭	教頭

沖縄県立美里高等学校シラバス

教科

美術

科目名・単位数	造形表現	(2) 単位	学習レベル	標準
---------	------	----------	-------	----

学習目標				
① デザインや工芸などの創造活動に主体的に取り組み、自己表現の喜びを味わう。 ② 材料の特性を吟味しその持ち味を大切にして発想し、構想する。 ③ 作者の心情や意図、表現の工夫を感じ取り創造力の豊かさを感じ取る。				

学期	学習内容	学習のねらい	提出物
1 学期	4月 オリエンテーション 造形表現の内容・評価について	・造形表現で取り組む内容について説明し、生徒作品等を鑑賞する	・プリント
	造形基礎 ①鉛筆デッサン 鉛筆の使い方 スケッチのやり方 デッサン「手」	・基礎であるの使い方を学び、デッサンのもつ基本形態を描画し、モチーフを観察する能力を育てる。 ・スケッチの方法を学び、デッサンにおいて重要な観察力を育てる。 ・鉛筆デッサンで学んだ基礎を踏まえながら、自身の手をデッサンする。次の単元の彫刻「塑像：手」のスケッチやモチーフとして使用することを前提としてデッサンに取り組む。	・ワークシート ・ワークシート ・作品
	5月 ②彫刻「塑像：手」 粘土の扱い方 芯材の制作	・人間が持つ躍動感や生命力を彫刻という立体造形の表現として表す。 ・粘土の持つ特性を理解し、適切に扱う方法を学ぶ。 ・モデルのポーズ、動きに合わせて、針金や木材、シュロ縄を使って芯材を作る。	・ワークシート
	6月 デッサン「手」を元に粘土つけ 7月 粘土の成形 仕上げ、乾燥	・スケッチやデッサンを元に、細部にこだわらず全体のバランスや大きさ、量感を見て粘土をつける。 ・全体に粘土をつけたらへらなどで形を整えていく。指の先や爪、肌の質感など細部をよく観察し、クオリティを高めていく。	・作品
2 学期	9月 ③木工「ウッドパズル」 パズルのデザイン、使用目的の構想 木の加工	・あらかじめ使用目的を決めて、パズルの特性を理解し、デザインを構想する。 ・木の特徴を活かした独創的で安全なデザインを行う。 ・構想から完成までの過程を計画的に行う。 ・木の特徴を理解し、独創的なパズルピースを作成する。 ・木の加工のために裁断する際は安全に電動ノコギリを使用する。	・ワークシート ・デザイン案
	10月 彩色、仕上げ 11月 ④染織「絞り染め」 下絵、使用目的の構想 下絵を元に縫いの作業	・仕上げにヤスリをかけ、ニスを施すことでより安全性とクオリティを高める。 ・沖縄の伝統工芸である藍染めと、代表的な技法である絞り染めを用いてオリジナルの手ぬぐいを制作する。 ・工芸の特徴である実用性と美の両立を目指したデザインを構想する。 ・絹用の縫い針と波縫いを用いて、下絵を元に布を縫う。	・作品 ・ワークシート ・デザイン案
	12月 染色：藍染め 水元、乾燥	・藍染めの特徴を理解し、染色する。	・作品
1 月	⑤染織「カード織り」 デザインの構想 2月 カードの制作 整経、製織 織物の加工	・染織の基本技法であるカード織りを用いて、ストラップを制作する。 ・工芸の特徴である実用性と美の両立を目指したデザインを構想する。 ・織物の特徴を理解し、糸の扱いに気をつけながら制作を行う。	・ワークシート ・デザイン案 ・作品
	鑑賞 作品展示会	・これまでに制作した作品を展示し鑑賞する。	・ワークシート

評価の観点と方法				
① デザインや工芸などの創造活動に主体的に取り組み、自己表現の喜びを味わうことができる。 ② 材料の特性を吟味しその持ち味を大切にして自分らしく発想し、構想することができる。 ③ 美術作品や造形物に関心を持ち、作者の心情や意図、表現の工夫等、創造力の豊かさを感じ取ることができる。				
方法 アイディアスケッチ、プリント、ワークシート、作品、授業の様子等を総合的に判断して行う。				

使用教科書・副読本	なし	実習費	3,000 円
-----------	----	-----	---------

教材・道具等	各課題に応じて
--------	---------